

産業発展論（川 端）演習

1 テーマ

世界と日本を動かす産業の構造とダイナミズムを分析する。産業発展論は、産業の生成・発展・再編・衰退を取り扱う科目です。

2 テキスト

*学年の初めには、日本と世界の経済についての主要問題を学びます。

例) 2015年度前期：トマ・ピケティ『21世紀の資本』

2016年度前期：橋本俊詔『日本人と経済』

2017年度前期：金森久雄・大守隆『日本経済読本（第20版）』

2018年度前期：C.クリステンセンほか『イノベーションの最終解』

2019年度前期：リチャード・ボールドウィン『世界経済 大いなる収斂』

2020年度前期：塩地洋・田中彰編著『東アジア優位産業』

*それからより応用的な本を読むこともあります。

3 趣 旨

- (1) 企業・業界分析ができるようになるろう！
- (2) プレゼンテーションとレポート作成ができるようになるろう！
- (3) 自分のゼミ活動を形に残そう！
- (4) 根拠のある自信をもって世界を語れるようになるろう！

4 年間計画（対面可能な場合）

- *2月：次年度打ち合わせ。新ゼミ生歓迎会。
- *3月：新ゼミ生は春休みレポート作成。卒業祝賀会。
- *4月：花見。レポート討論会。
- *5月：テキスト輪読。4年生卒論（演習論文）構想発表会。
- *6-7月：テキスト輪読。工場見学行き先決定コンペ。3年生第1学期レポート作成。
- *8月初め：現代産業研究会（卒業生と交流）。
- *10-11月：テキスト輪読，工場見学旅行，4年生卒論中間報告会。
- *12月：4年生卒論最終報告会、卒論提出。3年生業界研究報告会。
- *1月：3年生業界研究レポート作成。

5 募集人員 進級者，編入学者等をあわせて7名めど，8名限度とします。

6 参加条件

- (1) 当ゼミは，単位数にふさわしい範囲で，しかし密度高く活動しています。無断欠席をしない，事前に調査・分析をして報告する，レポートや論文を提出する，役割分担を果たすことは，単位を取得するための必要条件です。
- (2) ワード，エクセル，パワーポイント，インターネットメール，オンライン会議システム，Google Drive でのファイル共有を用いますので，それらをPCから操作することは必須です。
- (3) 川端が担当する基本専門科目「日本経済」も受講してください。
- (4) 当ゼミは経済学科のゼミですが，内容は経済学と経営学を横断的に扱うものです。
- (5) 経済数学は必要ありません。英語を読めることは必要です。

7 選考方法（4月演習(I)A履修開始者）

第1，2次募集では，計7名まで無条件で受け入れます。7名を超えたときだけ選抜を行います。選抜に際して志願理由をよく読みます。第3次募集は，2次募集までの参加決定者が4名未満の場合のみ行い，個別に面談して決定します。

8 運営方針

- *ゼミ生が書いたレポートや演習論文を編集して形に残すことを重視します。演習論文は「卒論」と位置づけ，ゼミ誌『研究調査シリーズ』に収録し，現役・卒業生でオンライン共有します。
- *定性的分析とケース・スタディが中心です。ひとつひとつの業界の出来事や企業の行動を，事象の個別性と理論の示す普遍性の統一として理解する方法です。
- *マルクス経済学，近代経済学，経営学のいずれをベースにする人でも参加できます。
- *ゼミ生自身によるゼミ運営を重視します。ゼミにはゼミ代，旅行委員，現代産業研究会事務局員，機材委員，編集委員，宴会委員などの役割分担があります。
- *当ゼミには，前任教授時代（1963年度ゼミ開始）から50年以上続くOB・OG会があり，年に1回「現代産業研究会」を行っています。
- *年1回，工場見学旅行を行います。

9 担当教員の主要な研究業績

日本を含む東アジアの産業について研究しています。

- *「中国鉄鋼業における過剰能力削減政策—調整プロセスとしての評価—」RIETI

Discussion Paper Series, 20-J (近刊)。

- * 「国際経済統合下におけるベトナム鉄鋼業の発展」 *TERG Discussion paper*, No. 395, 東北大学大学院経済学研究科, 1-23 頁, 2018 年 11 月。
- * Where is the Excess Capacity in the World Iron and Steel Industry?: A focus on East Asia and China, *RIETI Discussion Paper Series*, 17-E-026, Research Institute of Economy, Trade and Industry, pp.1-36, March 2017.
- * 「中国経済の『曖昧な制度』と日本経済の『曖昧な制度』 ー日本産業論・企業論からの一視点ー」『中国経済経営研究』第 1 巻第 1 号, 2017 年 3 月。
- * 「ベトナム鉄鋼業における民間企業の勃興」『アジア経営研究』第 22 号, 2016 年。
- * 「中国鉄鋼業における省エネルギーと CO2 排出削減対策」『アジア経済』第 55 巻 1 号, 2014 年(趙洋氏と共著)。
- * 「東北地方における自動車部品調達の構造」『赤門マネジメント・レビュー』第 12 巻 10 号, 2013 年(竹下裕美氏と共著)。
- * 「大連市におけるソフトウェア・情報サービス産業の形成」『アジア経営研究』第 18 号, 2012 年 (張艶氏と共著)。

10 指導教員が薦める本 自分が面白いと思った本を読むのが一番です。

11 「ゼミ見学」の可否
別途指示します。

12 10 月演習 (I) A 履修開始者に対する特記事項 なし。

13 その他

- * 2020 年度第 2 学期は新型コロナウイルス感染防止策を取りながら、対面とオンラインを併用して行っています。
- * 教員のウェブサイトを見て、自分の関心と合うかどうか確認してください。メールによる問い合わせも受け付けます。nozomu.kawabata.bl@tohoku.ac.jp です。
- * 過去のゼミ内容は以下で確認できます。
<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawabata/zemi/index.htm>
- * 演習論文で研究したい業種・企業は自由に選べます。過去の卒論タイトルは、ウェブサイトの『研究調査シリーズ』紹介ページを見てください。
<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~kawabata/zemi/series.htm>
- * 進路実績はメーカー (自動車, 石油・ガス, 重機, 鉄鋼, 素材, 医薬品, 化学, エレ

クトロニクス), 建設, 銀行・証券, サービス (IT, 電力, 通信, 航空, 鉄道, 不動産, テレビ局, コンサル, 情報サービス, 人材サービス), 公務員, 大学院進学など多岐にわたっています。

*2020年度第1学期のゼミ参加者は16名(4年生8, 3年生8)(男子11, 女子5)でした。

*懇親会も盛んですが, 飲酒を強要することはありません。

学びたい人, 書きたい人, 語りあいたい人を待っています。